

# 2023年12月1日 第3452回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 藤村 会長  
<斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」  
<唱和> 「四つのテスト」  
<ゲスト紹介> \*青少年交換留学生ホストファミリー 平野 弘子 様  
\*青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN 君  
<誕生日祝> \*高橋 隆一 (S.36.12.6) \*梁井 康市 (S.36.12.7)  
\*鈴木 之一 (S.33.12.24) \*角井 駿輔 (S.60.12.24)  
\*臼井 健 (S.48.12.25) \*宮島 才一 (S.24.12.26) 各会員  
<入会月祝> ・田邊 一三 ・澤田 菊江 ・前田 長生 ・Enora Rogers  
・杉浦 浩子 各会員  
<会長報告> \*年次総会 日程変更について  
\*第1グループ三役会 報告  
\*ガバナー事務所から  
・派遣候補生第1回オリエンテーション開催について  
日時：12月2日(土)派遣候補生オリエンテーション 13:30～  
来日学生との合同オリエンテーション 15:00～  
場所：第一相澤ビル8階「会議室」

- <委員長報告> \*雑誌委員会 杉浦副委員長から ロータリーの友12月号  
\*出席委員会 曾我委員長から11月分出席報告 11月分平均出席率 82.96%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
11月10日	119名	109名	74名(2名)	35名	18名	82.88%
17日	119名	110名	81名(4名)	29名	12名	83.04%

\*インターアクト委員会 小山(陽)委員長から インターアクト年次大会 報告

- <青少年交換留学生挨拶> \*Chia-Yuan WEN 君  
<幹事報告> \*週報・・・横須賀北RCから受領  
\*年忘れ家族会会費徴収について  
\*例会終了後 第3回地区研修・協議会委員会開催

- <出席報告> \*出席委員会 曾我委員長から12月1日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
119名	108名	72名(2名)	36名	18名	83.33%

メイクアップ：岩崎、Robinson、大野(忠)、岡田(圭)、小沢、兼城、児玉、齋藤(隆)、鈴木(孝)、鈴木(豊)、関口、平松、松岡、山下 各会員 地区大会出席  
萩原、畑、梁井、渡辺 各会員 ポリオ根絶募金活動出席

## <ニコニコ報告>

- ・三 役 青少年交換留学生ホストファミリー 平野弘子様ようこそお越しくございました。
- ・木 村、中村(備)、大野(健)、臼井、福西、椿、小山(陽)、浅葉、八巻、渡邊(磨)、根岸、柴田、谷、二瓶、小林(-)、岡田(健)、勝見、齋藤(健)、小山(健) 各会員  
青少年交換留学生ホストファミリー平野弘子様、青少年交換留学生 Chia-Yuan WEN (Sam) 君ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。
- ・高橋、鈴木(健)、角井、臼井、宮島 各会員 誕生日祝いとして
- ・田邊、澤田、前田、Enora、杉浦 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 地区大会お疲れさまでした。第1回クラブ協議会地区大会報告よろしくお願ひします。

- ・濱田、竹株、大石、石田、長島、永井、大野、小平、勝間、長尾、徳永、南、江口、上林、森、権田、波島、齋藤、田中、小保内、岡田 各会員  
本日は第1回クラブ協議会（地区大会報告）です。報告者の皆様よろしくお願ひいたします&報告頑張ります。
- ・2番テーブル前田マスター、南サブマスター 11月21日（火）に「住よし」にて2番テーブルミーティングを開催しました。ご参加いただいたメンバーの皆様、角井SAAありがとうございました。また、美味しいお酒の差し入れをいただきました高橋副会長、おいしいお料理を提供いただきました松本会員ありがとうございました。
- ・松本、瀬戸、田邊、吉田、角井 各会員  
11月21日、2番テーブルミーティングを「住よし」にて開催いたしました。高橋副会長の差し入れもあってほろ酔い気分で楽しく盛り上がりました。前田テーブルマスター、南サブマスターありがとうございました。
- ・5番テーブル齋藤 齋藤 齋藤 マスター 先日は5番テーブルミーティング、イタリアンレストラン「Sette」で楽しく行うことができました。竹株会員もご参加いただきありがとうございました。
- ・上林、小佐野 両会員 11月21日、（火）に「Sette」において5番テーブルミーティングが開催されました。藤村会長にご参加いただき楽しい会となりました。齋藤秀人マスター、加賀本サブマスターありがとうございました。
- ・1番テーブル兼城サブマスター 11月24日（金）に「甲羅本店」において1番テーブルミーティングを開催しました。ご参加いただいたメンバーの皆様、鈴木之一幹事、角井SAA、三宅さんありがとうございました。また、おいしい食事と料理、そしてお土産のチーズケーキをご提供いただいた小沢一彦会員に感謝申し上げます。
- ・加藤、荊山、杉浦、田村、飯塚、三堀、角井 各会員  
11月24日（金）に「甲羅本店」にて1番テーブル夜間ミーティングを開催しました。当日は鈴木之一幹事、角井SAA、三宅さんも参加いただき、楽しい一時を過ごしました。また、小沢会員からのチーズケーキもありがとうございました。
- ・八巻、澤田、齋藤、角井 各会員 11月27日（月）、「アマルフィ・マリナブルー」にて3番テーブルミーティングが開催されました。藤村会長、角井SAAご出席ありがとうございました。齋藤眞且会員、美味しいシャンパンありがとうございました。
- ・比護親睦活動委員長 ご案内いたしました12月22日「メルキュールホテル横須賀」で開催する『年忘れ家族会』にはたくさんのご参加よろしくお願ひします。また、ビンゴ大会景品提供にもご協力いただくと助かります。
- ・高橋副会長 地区大会当日、娘の結婚式が無事終わりました。

#### <賞状・記念品授与>\*地区大会表彰

- ・長寿会員 上林、波島、徳永、福西、小沢(+) 各会員
- ・ロータリー財団表彰 アーチ・クランフ・ソサエティ 小沢(+)会員  
2022-23年度大口寄付 長尾会員
- ・ロータリー賞
- ・ロータリー米山記念奨学会寄付 優秀クラブ 第4位

#### <卓 話> 第1回クラブ協議会（地区大会報告）

##### ◇藤村会長

今年度の地区大会は、RI会長代理として釧路北RCの足立功一様ご夫妻のご臨席の下、1日目は鎌倉パークホテルにおいて会長幹事会と指導者育成セミナーを、そして2日目は相模女子大学グリーンホールにおいて本会議が開催されました。

1日目の会長幹事会では、午前中に行われた四種委員会の報告と大会決議の採決があり、続いて、前年度地区決算の報告ならびに承認採決、続いて地区委員長から委員会活動報告がありました。

その後、指導者育成セミナーを挟んで韓国済州島の第3662地区との、姉妹地区締結10周年記念式が挙行されました。この地区はロータリアンの人口比率が非常に高く、人口約66万人の島に約4,000人のロータリアン、つまり、100人に1人弱がロータリアンだそうです。石を投げればロータリアンに当たるような状況で、同じく人口約400万人のエリアにロータリアン約2,400人足らずという当2780地区とは10倍の開きがあります。済州島は日本人や中国人にも大変人気の高い観光地ですが、経済規模の違いだけでなく、背景にはロータリーの社会的認知度の格差があるようです。

次に2日目の本会議ですが、ガバナー挨拶やRI会長メッセージなどの前半のプログラムの後、休憩を挟んで、アトラクションとして洗足学園音楽大学の和太鼓部の学生による迫力ある和太鼓の演武がありました。

続いて、記念講演として、慶応大学の廣瀬陽子教授による「ウクライナ危機と深層」というテーマでの講演がありました。マスコミなどでは詳しく報じられないロシア側の論理や思考にフォーカスしつつ、アメリカの経済制裁とは裏腹に第三国を経由した石油や天然ガスの迂回輸出でロシア経済が大いに潤っていることや、その反面、先端半導体の入手困難からミサイルや航空機などの兵器生産が滞っている状況など、舞台裏から見た興味深い戦況解説がありました。

各種表彰の場面では、当クラブから上林会員、波島会員、徳永会員、福西会員、小沢会員の5名が長寿会員として、また、アーチ・クランフ・ソサエティとして小沢(一)会員、財団大口寄付として長尾会員が表彰されました。また、当クラブの昨年度の実績に対するロータリー賞の受賞、さらに、「ロータリー米山記念奨学会寄付優秀クラブ」の第4位に入賞しました。

ガバナー挨拶やRI会長代理のスピーチの中で、近年の地区組織、特に委員会組織の肥大化を危ぶむ指摘がありました。こうした問題提起は、今年4月の地区研修・協議会における小沢元RI理事の言及に続くものです。

日頃、横須賀RCの我々は、ローターアクトやインターアクト、交換留学や米山などの青少年奉仕や国際奉仕の活動を、クラブを通じて日常的に経験しています。他方で、会員数が40名に満たない大半のクラブでは、クラブ内にこうした活動の実態がない場合が多く、地区の委員会活動がそれらに関与できる貴重な場となっていると考えられます。つまり、多くのクラブがマンパワーの確保に苦労する中で、奉仕活動の実践の場が、クラブから地区に移ってきているということが背景にあるのかもしれませんが。そして、地区に多くの人材が集中することは、クラブ単位の奉仕活動の足枷となりかねないため、ロータリーの活動の拠点地区からクラブに比重を移すことが求められているのだと思います。

最後になりますが、地区大会は各種表彰や他クラブとの交流・情報交換の場として、大変重要なイベントですが、毎回気になることは、本会議の会場に空席が目立つことです。今回のクラブ紹介の際にも、横須賀に次ぐ会員数を誇るようなクラブでさえ、参加者が10名足らずだったのは意外に感じました。幸い、当クラブからは、ご多忙の中30名以上の会員にご参加いただきました。ありがとうございます。次年度以降も、特に最近入会した会員の方々にとって、ロータリーを知るための良い機会というか、ロータリーを知るためには避けては通れない関所のようなものですので、ぜひご参加いただきたいと思います。

## ◇小山(陽)会員

地区大会本会議前の午前中に、相模女子大学グリーンホールにて新世代交流会が開催されました。私は地区インターアクト委員として参加させていただきました。三浦学苑からは、IAC会員7名もの生徒さんが顧問教諭の荒川先生、稲見先生と参加、またRACから小用会長が参加してくださいました。例年ですと地区青少年委員会が脇を支え交流会を行っていましたが、今回はほとんど全てをROTEX(青少年交換を体験された方々)が主導して立派に運営されていました。各テーブル5名ほどで席が決まっていた最初にアイスブレイクでグループ毎の共通点を探し出し、それについて話し合い、その後にマインドマップという表現方法を使い、各自で「Who I Am～本当の自分を伝えてみよう～」という題でディスカッションを行いました。マインドマップとはイギリスの教育者トニー・ブザン氏が提唱した思考の表現方法で中心となるキーワード、本当の自分で関連する言葉やイメージをそのまま書き出し、放射状につなぎ自分自身で考えていることをそのまま描き出すことで、気が付かなかった自分自身やテーブル内で共通部分やワードでその人となりが見つめ、仲間意識が容易に高まります。また、今回は特にROTEXの方々や交換留学生の方々が多数参加して1テーブルに2名はいるような国際色豊かな陣容になりました。

私達ロータリアンは後方に着座して見守っていて、私は15人掛けテーブルの中央に着座してしまい内容は全く分かりませんでしたので、参加した三浦学苑IACの生徒さんの感想をお伝えしたいと思います。

(川村さん) マインドマップに関しては他の人と話せる良い機会でした。しかし、共通点を見つけるところではマインドマップ後に行えば、もっと共通点を見つけやすいのではないかと感じました。

(片瀬さん) 私も今回の新世代交流会で、さまざまな国の方々と関わることができて良い経験になりました。マインドマップの作成では、普段なら日本の方と行う活動を実際に海外出身の方と行うことができ、共通点もたくさん見つけられました。

(峯さん) 自分自身の趣味や性格など改めて振り返ることができたことは、良い結果だと思います。改善点はディスカッションの発表者が2名と少なく、またディスカッションだけでしたので、もう少し何かを行ってもいいのではないかと感じました。去年はビーチフラッグの公演もしていたので公演会でもいいと思いました。

(四分一さん) マインドマップの作成では改めて自分を見つめ直すことができ、今後自分は何をしていきたいのかまた、何をしていかなければいけないのかが、ある程度ハッキリしました。交流を通して周りの人に自分のことを話したことによって肩が軽くなりました。

(加藤さん) 今回のマインドマップでは自分が今どのようなものが好きなのかなど、今の自分について一度考えられる良い機会になりました。そして、他の国の方の好きなものや風習など多文化を知る良い機会にもなりました。

(鈴木さん) マインドマップを作成して、より自分のことを知ることができたと思います。そして、初対面の相手のことも作成したマインドマップを見ることで、その人がどのような性格でどのようなことが好きなのかが分かり、より良い友好関係を築くことができたと思います。

以上が皆さんの感想でしたが、私にとって、多様性に富んでいて青少年の皆さんが持っている可能性の一端を垣間見た気がしました。

#### ◇権田会員

皆様こんにちは、新会員の権田です。2023年11月26日に国際ロータリー第2780地区の地区大会の本会議および大懇親会に参加させていただきましたので、ご報告を申し上げます。

今回は相模原西ロータリークラブがホストクラブであり、本会議の会場は相模女子大学グリーンホールでした。

私自身は本年6月に横須賀RCに入会させていただき、地区大会に参加させていただくのは初めての機会でした。

これまで、まだ「地区」という枠組みをイメージできていませんでしたが、今回、第2780地区の多数のクラブやロータリアンと同じ時間を共有させていただき、ロータリーにおける地区という枠組みがどのようなものであるか、またクラブだけではなく地区においてご尽力されている会員がたくさんいることなどを、少しずつですが理解できたように思います。

また、地区大会には第2780地区の多数のクラブが参加されていたことから、改めて自分が所属しているクラブを意識することができました。例えば、横須賀RCが表彰される際、クラブの名前を読み上げられて、横須賀RCのメンバーと一緒に立ち上がる際には、私自身は何も貢献していないにもかかわらず誇らしい気持ちになりました。これも地区大会だからこそ得られる気持ちなのだと感じました。

さらに、地区大会には、韓国や台湾のクラブからも多数のロータリアンが参加していて、ロータリーがいかに国際的な組織であるかということも感じることができました。

本会議では、決議採択、祝辞、アトラクション、記念講演、各種表彰、新世代紹介など満載で行われましたが、特に印象に残ったのは、足立功一RI会長代理が最後の大会総評の際にされた「未来の自分と約束をしよう。そして、他者との約束だけではなく、自分との約束も大切にしましょう」という話は、非常に感銘を受けました。

私自身も、横須賀RCの一員としての未来を想像し、未来の自分とどのような約束をすれば、社会に奉仕することができるかを改めて考えてみたいと思います。

本会議後の大懇親会は、1時間という時間であつと言う間に過ぎてしまいましたが、板前さんがその場で料理を作ってくださいなど、素敵な懇親会でした。

なお、次回の地区大会の日程は、来年10月19日（土）、10月20日（日）ということです。  
ぜひ、また来年も多くの横須賀RCの皆さんと一緒に、地区大会に参加できればと思います。

## ◇竹株会員

11月26日に開催されました国際ロータリー2780地区 地区大会2日目に参加させていただきました。岡田(圭)会員、荻山会員の車で初めての相模原に行っていました。

たくさんのロータリアンが参加されていて、地区には9グループ74クラブがあり、参加者の多さに大変驚きました。

数あるクラブの中で、地区で一番大きい横須賀RCに所属でき、たくさんの諸先輩方がいらっしゃる環境を本当にうれしく思いました。

足立RI会長代理ご夫妻のご臨席のもと、海外から相模原西RCの姉妹クラブの敦化RC32名の皆さん、相模原かめりあRCの姉妹クラブ台北メルシーRCから6名の皆さんが参加され、また姉妹地区である第3662地区 尹(ユン)ガバナー率いる済州RCからも20名が参加されました。第3662地区が初めて姉妹地区を締結したのは第2780地区だったそうで、特別な思いで今回ご参加されたと尹ガバナーからお話がありました。

ゴードンR. マッキナリー会長が掲げる2023-24年度テーマCREATE HOPE IN the WORLD「世界に希望を生み出そう」を掲げ、平和やメンタルヘルスのために活動し、対話を通じて信頼を築くことは重要であり、世界に希望を生み出そうと呼びかけています。

田島敏久ガバナーから「『若者と希望』MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう」を今年度地区の指針と掲げお話しされました。

SNSの普及により若い世代のコミュニケーションの機会が減少している点、地域で助け合う大切さ、他を助けることで自身を救うことにつながり、それが奉仕のSPIRITでROTARY活動につながるという話がありました。

記念講演では「ウクライナ危機と深層」と題し、長引くウクライナ情勢が周りに与える影響とその理由などをお話しいただきました。

ロータリー財団表彰のアーチ・クランフ・ソサエティでは小沢会員、大口寄付では長尾会員が受賞、本当におめでとうございます。

大会の中で田島敏久ガバナーから健康寿命が120年という論文が発表されたというお話もありました。長寿会員の表彰では地区内最多の5名の皆さんが表彰されました。上林会員、波島会員、徳永会員、福西会員、小沢会員、本当におめでとうございます。

元氣な諸先輩方の下、ロータリークラブをより深く知り、小沢一彦会員をはじめ諸先輩方のこれまでの功績があつて本日の横須賀ロータリーがあること、またその一員になる機会をいただけたことを本当にうれしく思います。

最後に当日ご同行いただき、いろいろ教えてくださいました大野会員、石田会員ありがとうございました。

## ◇鈴木(之)幹事

前回より1か月遅い日程で始まった地区大会は11月25日（土）・26日（日）にわたり、鎌倉と相模原を会場として開催されました。2日目の相模原は前日からの雨で大変寒い一日でした。今回報告させていただく内容はプログラム1日目・会長幹事会で行われた地区指導者育成セミナーについてです。

ご講演いただいた講師はRI第2500地区2008-2009年度ガバナー足立功一RI会長代理で、「ロータリアンのリーダーシップ」と題してお話しされました。話し方、説明の仕方が大変上手で、とても聞きやすく分かりやすい話し方は今大会の中でも好印象を持ちました。

足立功一RI会長代理の講演の言葉を引用して報告します。「リーダーシップを発揮するには、誰かを指導するなどという不遜な考えを持つ前に、自分の課題から逃げないという心の持ち方を徹底することが大切であると思います。目の前に困難が立ちはだかったときに、誰かのせいにしたり、環境のせいにしたりするのではなく、自分の力で何とかしようとする意志を持つこと。この心の持ち方こそがリーダーシップの根本ではないかと思えます。リーダーは公平であるべきです。そして、コミュニケーション力。自分の考えを他人に押し付けるのではなく、相手の意見を尊重して耳を傾けて目標達成に向けて擦り合わせを行うことが大

切です。組織というものは、そもそも一人ではできないことをみんなで一緒に成し遂げるためにあるものです。リーダーに求められるのは、チームの結束力を高めて、個々のメンバーをチームの大切な構成力と位置付けて、同じ目標に向かって足並みをそろえて行動することです。そのために必要なものは、まず明確なミッション・使命をメンバーに共有させることです。そして、どのように貢献できるかということを理解できるように話し合っていくことだと思います。さらに、メンバーの貢献がしっかりと評価される仕組みの構築がリーダーに求められます。人は理屈では絶対に動きません。そこに共感と感動の心と義理人情があるからです。あの人にどのくらいしてもらったら私もお返ししなければならないというのは、日本人が持つ当然な考えではないでしょうか。

また、ロータリアンの育て方について子育て四訓を引き合いにこうおっしゃっていました。

「『乳児はしっかり肌を離すな』『幼児は肌を離せ手を離すな』『少年は手を離せ目を離すな』『青年は目を離せ心を離すな』良い子を育てるにはこれだけのことをしなければならないということです。ロータリアンに言い換えると1年目は例会に毎週一緒にスポンサーは出席しなさい。2年目は声掛けをしなさい。5年目までは目をかけなさい。それ以降は心に留めなさい。これがロータリーを2～3年で辞めてしまわないで、ずっとクラブにいてくれる一つの秘訣かもしれません。

最後にロータリーのリーダーシップは人に頼まれたら断ることなく、もし困難に遭遇したら、そこから逃げるのではなく強い心をもって前に進み、常に周囲に気配りをして細心の注意を払って物事に当たり、関係者に共通の利益をもたらすような考えを持つこと、そして自分のお金で活動しなさい」とおっしゃっていました。

プログラム2日目では新世代交流会も開催され、充実した内容であったと聞いています。大勢のメンバーが当クラブから出席いただいた中、権田会員、荻山会員、竹株会員の新会員の方々にも出席いただきました。長時間にわたり誠にお疲れさまでした。ありがとうございました。

最後に大会を顧みて足立功一RI会長代理はアップル社を創業したスティーブ・ジョブズ氏の言葉を用い、ロータリー活動の考え方や楽しさ等をおっしゃられたことが大変印象的でした。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 大石 朗